

東京日報

頁四刊朝日本
刊リ 朝
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

朝鮮行政

創刊號

定價 一冊五〇錢
半年 二圓五〇錢(稅共)
一年 四圓(稅共)

國語普及と言論機關
麗未鮮初に於ける家禮傳來 文藝博士 二宮 忠正
教學刷新の意義 法學博士 稻葉 岩吉
鵜澤 總明

最近の國際情勢展望
多難を昭和十二年度の外交 外務書記官 田代 重徳
日獨防共協定の意義 文藝博士 藤澤 親雄
鎖國ロシヤの正體 東洋文化會理事 平井 三男

朝鮮官僚論 湯村辰郎氏を語る
政治家と詩 水野 鍊太郎
東洋文明の傳統に生きて 佐藤 春夫
文明の母アジヤ ラス・ビハリ・ボース
農村振興の前途 景山 宜景
京畿道と水害對策 竹内 俊平
朝鮮無煙炭鐵業の將來 松田 弘夫

我等の朝鮮同胞 松波仁郎
冬となりし日 人牛傳 說
柳原白蓮 南 善
俳とはの惠方 馬場駒阿寒 「牛の歌」小感 田 晃
可婆根に見ゆる朝鮮色 水城 寅雄

南總督論 雄辰米手御
李詩講話 大東文化學院教授 年頭所感
傳 高麗の太祖 久 泰
一億國の裏街道 志村 操
本誌の記者 生

風雲竟蔣介石 宮崎滔天未亡人
時事問題 公定米價の決定 庶民恩給金庫の設置
燃料國策の樹立 地方行政機構改革案
ふるさとを憶ふ 崔 承 喜

創作 陽の沈むまで 沖野 岩三郎
發行所 東京市京橋區銀座西七ノ一
帝國地方行政學會 電話東京一三六三
賣捌所 京城府太平通二ノ四四
帝國地方行政學會朝鮮本部 電話本局一五八・一五九
振替 京城八八・一五九

出た！ 50 年 2 月号

鳩居堂香類
文房具、骨董
九霞山房
電話本局四九八〇

又々大評判!!
いよゝ面白く十二大長篇小説の外に
此のと大新計画!!

面々と相撲通になる大評判讀物
春場所大相撲の座談會

誰も知らぬ男士の内幕秘話感話公開
花形力士の奥さん打明け話

現金三千円進呈犯人探と大懸賞つぎ
小説班の覆面(天下宇陀兒)

痛快熱狂! 股旅小説大傑作集
痛みの叫び 涙の血を呼ぶ淡路島(原 巖)

春不附録讀切小説大傑作選
俠義壯烈三味線密書(平山蘆江)

恋愛哀切この結婚(横山美智子)

戦國悲話弓弦女武者(土師清二)

運命の子村の青空(濱本浩)

名作秘話獅子頭異変(中内蝶二)

全米震撼! 戦慄の大ギヤンギヤ實話
女装の美男フロイド物語
世界大問題! 列強軍備の大機密!!
佛獨ソ米國境要塞の真相
此の外名記事、口繪山の如し!!
新年號御覽の方は一人残らず御覽下さい。大急書店へ
五十銭 東京小石川大日本雄辯會講談社 電話本局三三三〇

許特資專
保温 材料販賣 東京伊藤保温工場出張所
保冷 工事請負 電話本局六三四七

市宴會 12!

林檎ヤシパン

林檎から造つたシヤンパンです。出たい時の飲物として賞用されてゐるもの。新年の御宴會には相應しい酒です。而も林檎特有の風味に更に洗煉された酒味が加つて居り、飲心地、鮮心地、當に明朗快過です。

